

名倉繁樹

差出人: [REDACTED]
送信日時: 2010年11月10日水曜日 13:06
宛先: [REDACTED]
CC: [REDACTED]
件名: 【ご連絡】20101027-29地震学会秋季大会 貞観津波関係について
添付ファイル: 201010地震学会秋季大会.zip

原子力安全・保安院
名倉さま

お世話になっております、東京電力の[REDACTED]です。
先日は、お忙しいところ、弊社福島地点をご視察頂き、ありがとうございました。

さて、先日開催されました地震学会にて、貞観津波関連の話題がありましたので、情報提供させていただきます。
(遅くなってしまいまして、申し訳ありません)

概要は以下の通りで、予稿集の写しを添付します。
(添付ファイルは'tepco1110'と入力頂ければ開けます)

ご説明が必要である場合には、御手数ですが、ご連絡を頂ければ幸いです。
よろしくお願い致します。

>産総研より以下の報告があった。

- ①福島県南相馬市小高地区にて実施した津波堆積物調査
- ②同調査結果を踏まえて検討した貞観津波の波源モデル

>①津波堆積物調査結果(発表形式、15分)

- ・小高地区にて、少なくとも1.5km程度、遡上していたことを確認。
- ・貞観津波を引き起こす地震では、広域で陸が沈降すると考えられる。

>②波源モデル検討結果(ポスターセッション)

- ・既に計算を実施したケース(モデル8, 10)を基本に、深さ・位置を変更したケース(モデル11~16)で計実施。
- ・上記調査結果を踏まえ、今回新たに、福島県沖に波源モデルを設定したケース(モデル15, 16)も実施した。
- ・福島県沖に波源モデルを設定したケースでは、石巻・仙台であまり遡上しない結果となり、一致度が悪い。
(既往モデルの深さを変更したケースが最も一致度が良い)
- ・現在、茨城県で津波堆積物調査を実施しており、最終的な波源モデル決定には、あと2年程度かかるのではないかと。

以上

東京電力株式会社
原子力設備管理部 新潟県中越沖地震対策センター
土木調査グループ 兼 土木技術グループ

[REDACTED]
〒100-8560 東京都千代田区内幸町1丁目1番3号

TEL: [REDACTED] (直通)

FAX: [REDACTED]

E-mail: [REDACTED]
